

エクアドルでの1年

山和マリン(株) 広江 重臣

1. はじめに

1997年10月海外職業訓練協会（JICA-EPCスキーム）からエクアドルの労働省職業訓練所，沿岸地方局へ，油圧，空気圧制御指導に派遣された。初めての派遣であった。

船員生活28年，大島商船高等専門学校の派遣教官約2年の経験をもとに指導しようと張り切っていたが最初から大変なことが発生した。

というのは，趣味でマジックをしているため技術の移転ばかりでなく，市民の皆様との交流の場を持ちたいと思い，マジックの道具および書籍食料等トランク5つを持っていくことにしていた。あらかじめエクアドルの専門家から荷物はいくつ？ 家族同伴か？ どうか？ 飛行機のスケジュール等のファックスが研修中に入り，帰省して荷物4個（後で増えた），家族は同伴しない旨，専門家に連絡してほしいとJICAに連絡した。また，JICAにも荷物の件を連絡した。しかし，後から聞くとキトーの専門家にもエクアドルの専門家にも連絡してなかった。これが，後に重大な問題になってきた。

さて，準備が終わり，東京での挨拶が終わり出発段階で荷物がもう1つ増え，結局トランク5つとコンピュータのバッグと手荷物1つの計7つの荷物を持っていくことになった。

ところが，出発時大きなボール箱3つをJICAの代理店が持ってきて，これを携行してほしいと言われ断わったが，ぜひ持って行ってほしいとのこ



SECAP校舎

とで，条件付きで了承した。その条件は飛行機乗り換え地でのお迎えおよび専門家へその旨の連絡をJICAに連絡してほしいとお願いした。

ところが，シアトルでもマイアミでも迎えがないうえ，ボール箱の荷物3個はなかなか出てこなくて心配で大変な思いをした。そのうえキトーの専門家が言ってきた飛行機のスケジュールどおりでなかったため，キトーで霧が発生し，飛行機が着陸できず，グアヤキルに変更されて着陸かと非常に不安であった。

そして，翌朝キトーに折り返し，やっと大使館の人，専門家に会えた。大使館，SECAP（労働省職業能力開発機構）での挨拶のため，キトーで2日費やした。翌朝グアヤキルへの手続きをするため，飛行場のカウンターへ行ったところが，ボール箱は他の場所で手続きをしてくれとのことで運搬人を雇い，やっとの思いで手続きを終わったときにはほとんどの人は中に入っていた。

さて、グアヤキルに着いたが専門家の迎えはないしボール箱3つは出てこない。30分くらい遅れて専門家が来たので事情を話した。一便荷物が遅れるとので喫茶店にて待つことにして、手荷物1つは椅子に、コンピュータは椅子の左において向いあって話していて気づいたときには、コンピュータの入った鞆がなかった。最初から非常なショックであった。

こうして、どうにか赴任地への旅は終わった。

2. 要請の内容および協力の背景

ここエクアドルは最近特に産業が進歩しつつあり、ここグアヤキルにおいても同様のことが言える。特に、セメント、プラスチック、瓶、自動車産業等において工業化は目覚ましいものがある。これらの産業において質の高い大量の技術者育成が急務とされている。SECAPは30年間にわたり、技能育成に積極的に取り組んでいるが、技術革新の高度化、複雑化に伴い、講師群の質、訓練用の教材、機器整備の遅れが目立っている。

工業化促進の中で、油圧、空気圧制御技能者が不足しており、技能者育成の必要が急務となっている。SECAPにも講師が1人という状態である。講師の質を高めることによって多くの技能者育成が可能となり、工業の近代化に寄与することになる。

3. 配属機関および業務の形態

CERFIL(私の配属されていたところ)は、SECAPの沿岸地方局の訓練所として20数年の訓練活動をやっている。

油圧、空気圧科は10数年前にイタリアから技術援助を受け訓練活動を行っている。他に訓練科目として、機械加工、溶接、土木、自動車整備、印刷製本、電気電子、木工などがある。科目のコースとして初心者養成訓練(訓練期間は2~3年)、在職者能力向上訓練、技術者補完訓練が行われている。職員数は30名、うち指導員は25名、他に臨時指導員として数名いる。

事務関係の勤務時間は8~16時。訓練時間は7~14時と14~21時である。



実習風景

4. カウンターパート

氏名: RENE VALENCIA

年齢: 49歳

職位: Instructor (指導員)

技術水準: 技術、知識とも素晴らしいものを持っている。SECAPで教えるより工場での講義の方が多い。

5. 指導方法および経過

赴任したが、本部のキトーから連絡されていないため、何をしに来たのかという状態で3ヵ月...地道に自分の教えることを勉強するくらいで指導員との接触はほとんどなかった。3ヵ月経過した時点で、彼らはやる気がないことがわかってきたので意識革命のため、まず、訓練所(甲子園の3~4倍ある)の中庭のビニール袋(水、ジュースなどはほとんどビニール袋)のごみ拾いから始めた。毎朝暑いので1時間ずつ拾って拾い終わるのに全部で11日かかった。ここにおいて、彼らは少しずつ変わってきた。

また、お互いに尊敬の念を持とうと“セニョール、セニョリータ”と呼ぶのは難しいから“さん”をつけて呼ぼう。これを教えるのも大変であった。彼らは小さいときから名前前で呼んでいるので慣れているが、私は縦の線の強い船員生活をしてきているので、どうしても彼らから“hiroe, shigeomi”と呼ばれるのに抵抗があった。そこで、「日本人は、両親、兄弟、目上の人、仲の良い友だち以外は



町の風景

“さん”をつけて呼ぶのですよ。あなたたちも名前だけで呼ばれるより“セニョール、セニョリータ”をつけて呼ばれるほうが気持ちがいいし、つけて呼ばれていないと叱られている感じがするでしょう。また、“さん”をつけると“セニョール、セニョリータ”をつけて呼ぶよりやさしいし、男性でも女性でも同じ“さん”で呼ぶのですよ」と教えたところ最初は戸惑いがあったが、だんだんと慣れてきた。ただ、彼らは自分を呼ぶときも“さん”をつけて呼ぶのには困った。現在では、日本人でも約束時間に来ない現象が見られるが、彼らも時間は守らない、嘘、言い訳をする。

どうしても、油圧、空気圧制御を教えるに当たって、総合的なことを教えていかないと理解できないので、所長にその旨を話しここの訓練所の希望者にそれを教えましょうと言うと、それをすると首になるというので（1年間の間に所長が5人変わった）我慢していた。しかし、どうしても電気の基礎から教えてあげたいので、まず、指導員に教えはじめたところ、彼自身が自分一人ではもったいないとのこと希望者を募り、時間内で教えると問題となるので、彼らの時間外14時から16時まで教えることにした。もちろん私にとっても時間外である。ここの人たちは自分から進んで勉強、努力しようとする気がないので大改革である。実際に彼らも私の行動からやる気になってきたと言ってくれるようになった。

ただ、教えるだけでなくお互いに“さん”づけで呼んだり、時間の厳守、始めと終わりの挨拶（日本式）、使用後の機器の片付けの励行等を教えていっ



市ヶ谷での研修所にての送別会

た。彼らから申し込みがあり5分遅れたらビール1本、20分遅れたら2本、“さん”づけで呼ばなかったら1本提出することになった。実をいうと20時間の実習が終わったら、わが家で私の手料理でパーティーをすることにしたのだ。したがって、この罰則のビールがパーティーのときの飲み物になるのだ。指導員は、朝コンピュータを使う前には、手洗いの励行（朝の挨拶は握手するので）、コンピュータにも挨拶してカバーを取るようにまで変わってきた。朝の通勤時のバスから帰省するわが家の近くまで彼が昼食をとる時間以外ずっと一緒であるから、言わなくても私の行動を見て良いところを吸収してくれている。

指導は油圧、空気圧機器の故障している物の修理、整備、保守、彼が郊外の工場に行くときにはついていき、彼の講義を見聞きしてこのようにしたほうが良いとかアドバイスを、またカリキュラムの見直し、OVT Aの英文の教科書をスペイン語に私が翻訳ソフトで変換し、それを2人で修正、またグラフィックの挿入およびコンピュータの指導をする。

油圧、空気圧制御の基礎知識、電気の講義であるが、まず黒板に図面を書いて教え、その後コンピュータにて図面を見せる。一応基礎知識が終わったら、まず問題のヒントになる基礎的なことを黒板で教え、コンピュータのプレゼンテーションを使っての質問、解答、その後彼らに図面を考えさせて画かせて、そしてコンピュータでプレゼンテーションを見せて理解させて、機器において実際に実習させ、再度プレゼンテーションを見させ、最後にビデオにて

復習する。

このパターンで基礎から上級まで教えて非常に評判が良かった。最初5名で始めたのだが、希望者が多く初級、上級が終わった時点で、もう1組増やしたが、また希望者が現われ結局3組教えた。彼らの科は、電気、土木、自動車、グラフィック、機械等で、あらゆる科の人たちが習いに来た。その中でも科長が3人も習いに来るぐらいの盛況であった。それに時間外で学ぶのであるから、いかにここSECAPの指導員たちの中にやる気が出てきたことがわかる。

私自身も彼らにもっと教えるためと教科書に図面をいれる必要があるため、2ヵ月かけてAdobe Photoshop, Adobe Illustrator, Mini Cadをまがりなりにもマスターして、日本人は独学でこれくらいできるのだよと見本を見せて、彼らの向上心を煽った。グラフィック科に所属する指導員3人全部を教えていたのだが、彼らも私の部屋に「いつからグラフィックを教えてくれるのか？」と聞きに来るし、女子学生が昼の時間にはグラフィックや日本語を習いに来るようになり、わが事務所も大変活気が出てきた。また、事務関係の人たちも私の作成したグラフィックを見に訪れるようになり、私の指導員もいわれなくても掃除はするし、整頓はするし私が着任したときから比べると部屋が全然見違えるようになってきた。もちろん壁が落ちているところはお金がないので修理できないため、そこに写真、グラフィックを飾った。

膨大な空地には、草がぼうぼうで雨期にはすぐ伸びてしまう。それを刈り込んで焼いて、畑を作った。青じそは暖かいのと雨が多いので小さいうちから花が咲き葉っぱは実らず、また、においもなかった。また、ひまわりは1つ咲きなのに5つも花が咲いた。日本の花が大きいので非常に珍しがっていた。大根も珍しがっていたので大根おろしをして食べてもらったところ、非常に喜んで「rico, rico」と言って食べていた。

6. 生活事情

まず、赴任した当時はホテルに宿泊したが、食事



独立記念碑

が油濃くて、おまけにご飯に油と塩が入っているので血糖値の高い私には合わないと思い、2週間して食事の作れるホテルに移った。食料は大量に日本から持って行ったり、送ったりしていたので助かった。また、後でわかったのだが、中国人が東洋の食料を売っているのだから米、味噌、酒、ラーメン、うどんなども買うことができた。ところがホテルで食事は作れるのだが、インターネットで日本の友だちと交信したいと思っていたのだが電話をつけてくれない。したがってそこも3ヵ月ではなれ、オフィスビルの25階建ての16階に住むようになった。ここは見晴らしが良くグアヤキルの町を一望できる。部屋は8畳間くらいと6畳2間、そして台所、パストイレが3ヵ所ある。オフィスビルだから土曜日、日曜日はほとんど人がいないし、夜もほとんど人がいない。ところが電話を引いてもらったのだが、3ヵ月して全然通じなくなった。調べてもらったところお金を前の人払っていないからコンピュータが切ってしまったという。私が払うからといって交渉したりした挙句、なんとか通じるようにはなったものの、要領を得ないこともままあるのだった。家から見える風景は昼はポブレの貧しい家が目の前の小高い山の上にあふれんばかりに建っているが、夜になると宝石をちりばめたように奇麗な景色に様変わりする。日本では金持ちが山の上に家を建てるが、ここエクアドルは逆の現象だ。建てる土地がないから自分たちで山を崩して建てているのである。

7. 出 会 い

今回の派遣においていろいろの出会いがあったが、その中でも本当に神様がいるような出会いがあった。

まず、派遣前研修のために市ヶ谷の研修所に行ったときのことだ。ある朝食をすませて部屋に帰る途中廊下である女性が、「飲み水はどこにありますか？」と水瓶を持って尋ねてきたので、「ここの食堂にしかありません」と答え、「どこから来られたのですか？」と聞いたところ、偶然にも「エクアドルから来ました」と答えたので、「私もエクアドルへ行くのですよ。エクアドルのグアヤキルに行くのです」と言ったところ、彼女は「私はキトーで20日働き、10日はグアヤキルに帰るのですよ！」と言うので、「では、グアヤキルに帰って来たときスペイン語を教えてください」と頼んだ。この出会いが私がエクアドルにいる間中世話になるとは、思ってもみ



大使館でのマジックショー



会社の人たちを招いての宴会

なかった。彼女は2日後長崎にたつとのことで、最後の晩研修所のロビーで一緒に来ている研修生の人たちにマジックを披露して、翌朝見送りをした。

10月に私は赴任して、12月のある日私の働いているSECAPに彼女から電話が入り、びっくりして私の住んでいるホテルの場所を教えたところ、その日の約束時間の5時ちょうどに訪ねて来てくれた（ここでは、非常に珍しいことだ。やはり、日本で研修しただけのことはあると思った）。それから、スペイン語の指導はもちろんのこと、ホテルからオフィスビルに移るときの契約書、電話が通じないときの始末、買い物、旅行、帰国時の荷物の送りだし、電話、銀行の手続き等、家庭教師兼秘書の役目をしてくれた。実際、本当の彼女の実家アンバットや他の町への旅行は彼女がいなかったらできなかったと思う。というのは日本人一人での旅行は危険なので禁止されている。その代わりに私はスペイン語の勉強を習いながら、スペイン語で日本料理の作り方を教えてあげた。今年また彼女が日本の大学院で学びたいと言うので、大使館にお願いしてこの4月か10月かに来るようにしてあげた。なかなかこの国では自分から勉強したいと言う人はいないのが現状なのに…。

さて、次なる出会いは非常に離れた人たちが一堂に会うという話である。というのは今回エクアドルに行くにあたり、私の所属しているインターネットのプロバイダのホームページの欄に仲間という欄があり、そこに南米の情報を教えてほしいとのコメントを流したところアメリカのサンゼゴから返事があり、その人の名は保坂さんといわれエクアドルで海老の養殖をしていて、住んでいるのは治安を考えてサンゼゴとのことで行くまでいろいろ情報をいただいた。そして彼が紹介してくれたのがグアヤキルで鮪漁船を3隻所有していらっしゃる大沢さんだった。グアヤキルへ行きある日、大沢さんを訪ねて行ったところびっくりされて早速その日からお付き合いさせてもらうようになった。さて、そうこうしているときサンゼゴの保坂さんが海老の養殖所を見にグアヤキルの近くの町に来られるとのことで、3人が大沢さんの事務所で会うことになった。もちろん、3人は初対面である（私と大沢さんは、このときに

は彼の家で何回もご馳走になって会っているが)、そして大沢さんの家でいろいろの話が弾み、また、私と保坂さんは私の家に帰っても話し合い翌朝お互いに別れ、それから2回会った。もともとは、下関とサンゼゴとエクアドルのグアヤキルと遠く離れている3人がインターネットで会えるのであるから不思議なことである。現在、とかくインターネットでの殺人とか、だましたとかのことが噂になっているが、こういう良いこともあるのだと思ってあえて名前を上げて書いてみた。まだ、まだ出会いはあるのだが誌面がないのでこのへんで.....。

8. マジック

娯楽の少ないエクアドルの人たちに少しでも楽しんでもらえたらと思い、かなりの量のマジックの道具を持って行くことにした。もちろん、人体浮遊、人体切断のイリュージョンも用意した。これが、言葉のわからない間の良いコミュニケーションになった。赴任して最初所長にお会いして通訳を通しての話のときは、何をしに来たのか問う状態であったが、持っていた簡単なマジックをしたところ、これには彼らも心を開きその後の私の仕事の助けとなった。私の言っている『マジックは心の会話』を実証できた。最初に泊まっていたホテルのオーナーがマジックをホテルでしてくれないかとのことで、ホテルの従業員およびお客さんに見せることにした。そのときラジオ局のディレクターが見に来ていて非常に感激され、これが縁で全国ネットで人気のある特別な番組に出演することになった。テレビ放映のあった次の日は、ガードマンが「マゴ、マゴ(日本語のマジシャンの意味)」と呼んでくれたり、町を歩くたびにあちこちから声がかかったり振り向かれるようになった。ある日、タクシーの中に事務所の鍵を落としてしまい、鍵を作りかえなくてはいけないと思っていたやさき、SECAPの中を歩いていたとき学生が「タクシーに鍵を落としていたでしょう」と言って鍵を渡してくれた。話を聞くと彼のお父さんがタクシーの運転手でたまたまテレビで私のマジックを見ていて覚えていたのだと言って持ってきてくれたのだ。この国ではめったにない現象である。び

っくりしてしまった。ここでも『奇術は心の会話』が実証されたとつくづく思った。ホテル、大使館、SECAP、ポブレの町等大小合わせて1年間で41カ所でのマジックをしてエクアドルの皆さんに喜んでもらった。この国ではする人がいないので真剣に見て喜んでくれた。日本では種を探して芸を見ないが外国はもっと心が広いようだ。

9. 生活レベルおよび物価

この国は貧富の差が大きく、70%は貧しい人たちだ。中間層は少なく、金持ちはものすごい金持ちだそうで、自動車も何台も持っているそうである。私の友だちの日本の商社の支社長の家は、プール付きで部屋は7部屋と非常に豪華なものだった。

さて、物価は非常に安く(贅沢品は日本製が多い)日本の1/4と思ったらよい。

私の好きなビール小瓶が日本円で75円、バーに飲みに行っても100円、ただしつまみは出ない。また、渡り蟹の中くらいのものが9匹で500円(ただし、魚市場)、生姜3個くらいで20円、卵はちょっと高く大玉12個で120円、料理の方は行くレストランによって違うが大体一皿(皿にご飯、おかずなどがのっている)500円くらい、私の行きつけの中華レストランでは、日本では一人前半ほどのボリュームの焼そばが250円、その店は綺麗なレストランだが、まず日本円で300円以上のものは見あたらない。6名のコース料理が何と2500円だ。蟹のつめも250円。したがって自分で作ったらいかに安くあがるかわかるというものだ。しかし電気製品は日本製が主流で、非常に高い。

乗り物は、バスが一路線遠いところ(1時間くらい走る)でも一律20円、タクシーは、20分くらい走って500円、乗り合いタクシーだと路線内で一律150円くらいである。

最後にこのプロジェクトが成功したのもOVTA、JICA、会社、エクアドル日本人会、エクアドル市民、家族の皆さんのお陰だと感謝いたします。